

狩野川中流域豪雨災害対策アクションプラン

戸沢川・長瀬川流域

はじめよう身近な豪雨災害対策！
浸水被害のない地域づくりを目指して



小坂公民館前

狩野川中流域総合的雨水排水対策協議会
静岡県、伊豆の国市、函南町

豪雨災害に備えて

天気予報などでよく耳にする「1時間に〇〇mmの雨」の目安は、下に示すような雨の強さと降り方になりますので、天気予報や防災情報を見聞きするときの参考にしてください。

大雨や長雨で危険と思ったら、早めに避難しましょう。

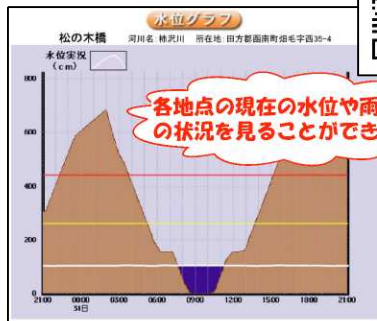
1時間に10~20mm 「やや強い雨」	1時間に20~30mm 「強い雨」	1時間に30~50mm 「激しい雨」	1時間に50~80mm 「非常に激しい雨」	1時間に80mm以上 「猛烈な雨」
ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感、恐怖を感じる

防災情報の提供

防災情報は、以下のホームページにて確認することができます。

●雨量や河川水位の情報（サイボスレーダー）

http://sipos.shizuoka2.jp/ (PC)
http://sipos.shizuoka2.jp/m/ (携帯電話)
※右のQRコードを携帯電話で読み取ることで、携帯サイトにアクセスできます。



●ハザードマップ

(伊豆の国市) <http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/anzen/bousai/hazaadomap.jsp>
(函南町) <http://www.town.kannami.shizuoka.jp/hp/page000001500/hpg000001451.htm>



みなさまのご意見をお寄せ下さい。

静岡県沼津土木事務所 企画検査課

〒410-0055 静岡県沼津市高島本町1-3
TEL (055) 920-2211 FAX (055) 922-6684
ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/>

伊豆の国市 建設課

〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1
TEL (055) 948-2908 FAX (055) 948-4031
ホームページ <http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/>

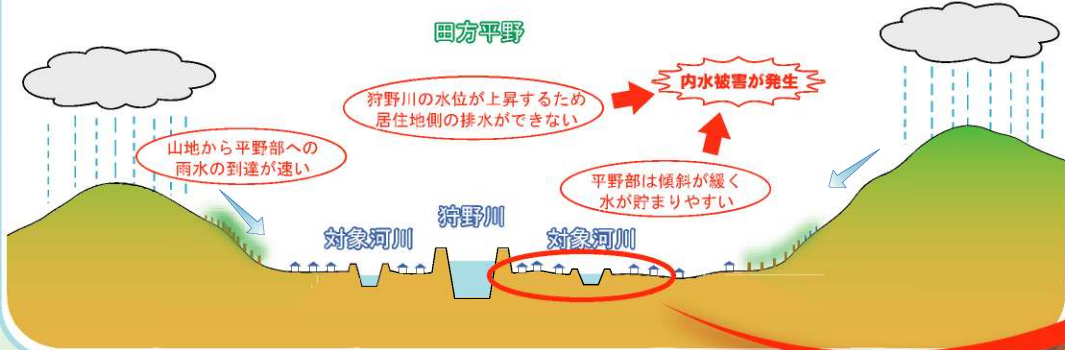
函南町 建設課

〒419-0192 静岡県田方郡函南町平井717-13
TEL (055) 979-8116 FAX (055) 979-8147
ホームページ <http://www.town.kannami.shizuoka.jp/>

田方平野は水が貯まりやすい地形です

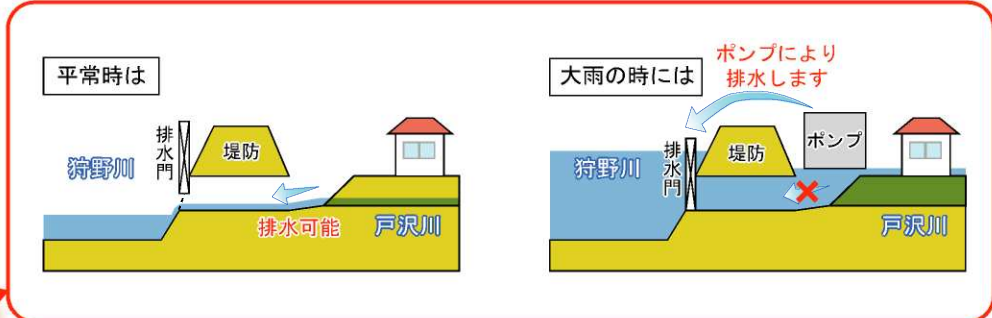
狩野川中流域は、急峻な山地に囲まれており、山地からすぐに田方平野となるため、雨水が短時間で平野部に到達します。平野部の地形は、傾斜が緩やかなので、雨水が流れにくく、水が貯まりやすい地形です。

さらに、狩野川の水位が上昇すると、流域に降った雨を狩野川に排水できなくなり、狩野川の堤防よりも居住地側に水が貯まってしまうという浸水被害（これを内水被害といいます）が起こりやすくなります。

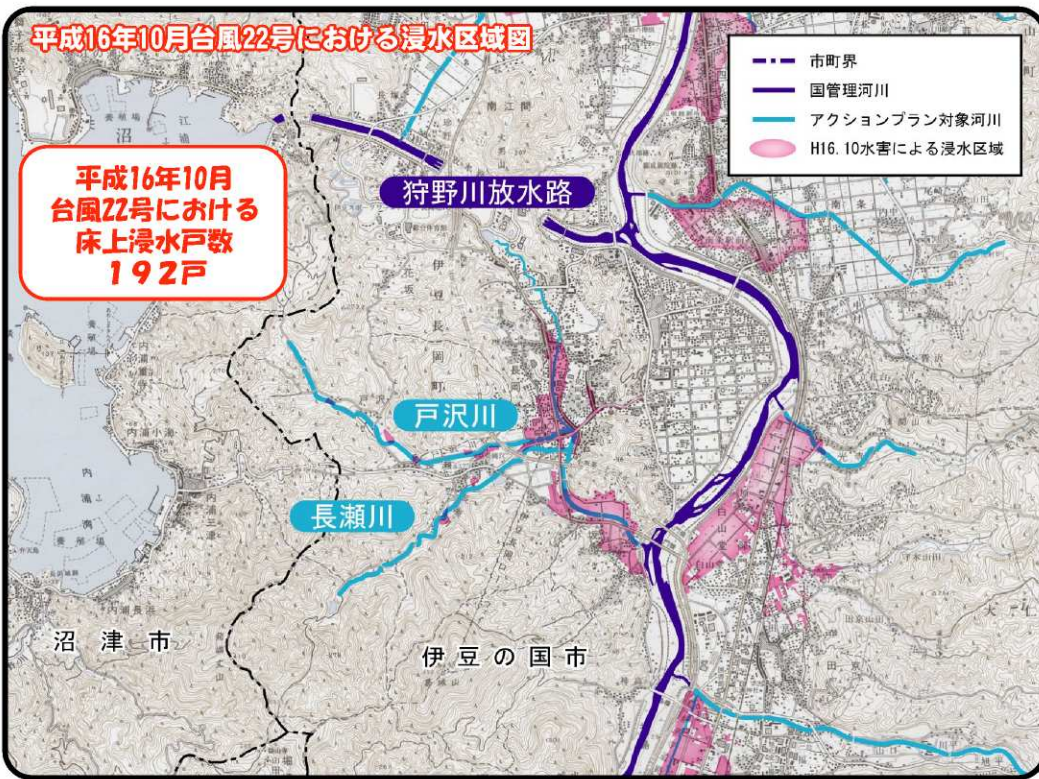


戸沢川・長瀬川の内水被害はなぜ起こるの？

大雨の時には、狩野川の水位が上昇するにつれて戸沢川の水位も上昇します。このため、排水門を閉めて逆流を防ぎ、排水機場のポンプにより、居住地側の水を狩野川に排水しています。このポンプの能力が足りないことが主な原因となっており、これまでに昭和57年8月、9月、平成10年9月、平成14年10月、平成16年10月、平成19年9月と度々重なる浸水被害が発生しています。



平成16年10月台風22号による浸水状況



※この地図は国土地理院発行の5万分の1地形図（葦山）を使用したものです

戸沢川・長瀬川流域におけるアクションプラン

静岡県と伊豆の国市は、次に示した対策を今後概ね5年間で実施していきます

平成16年10月の台風22号と同程度の降雨に対して、概ね5年間で床上浸水被害を緊急的に軽減することを目標としています。

「狩野川中流域豪雨災害対策アクションプラン」は、概ね5年を目処に、流域の床上浸水被害解消を目指し、静岡県や伊豆の国市、函南町が住民と一体となって進めていく総合的な治水対策です。

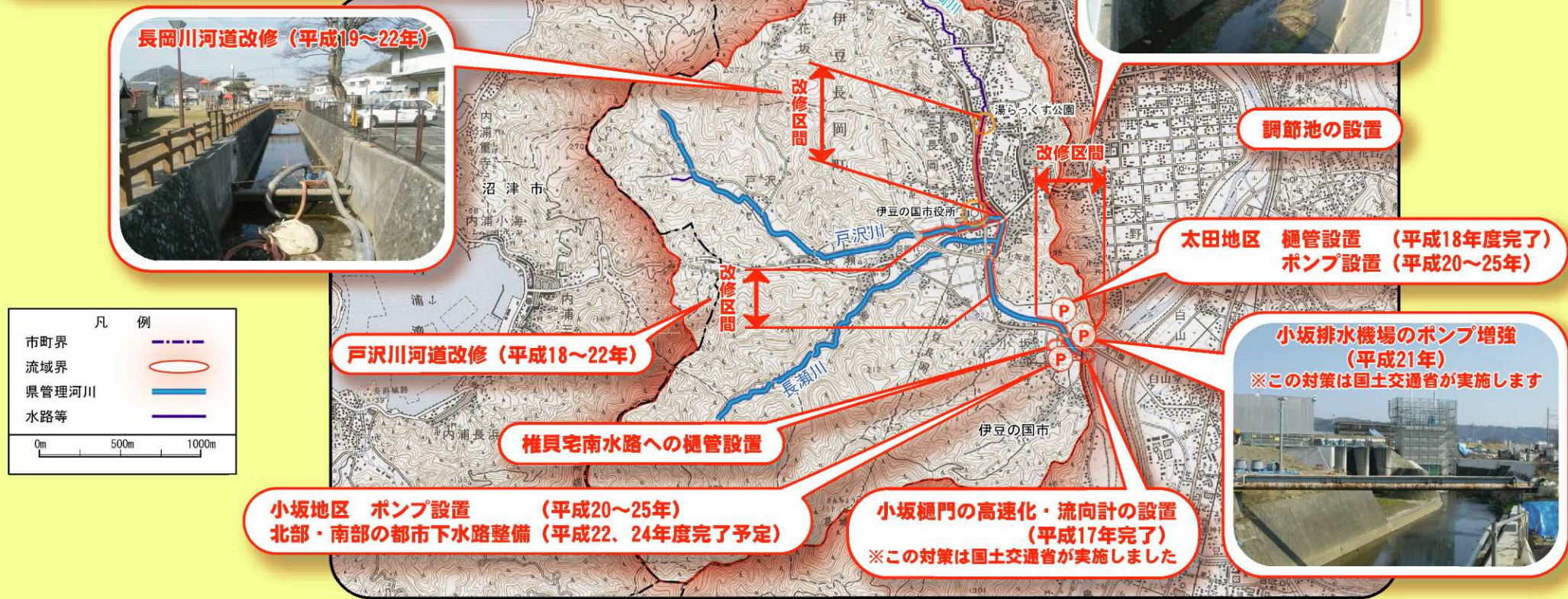
なお、このアクションプランで行う対策は、床上浸水被害を軽減させるための緊急的な対策です。このため、想定した規模以上の豪雨に対しては、今後も浸水被害の発生が予想されます。

被害を少しでも減らすためには、流域内・外の住民の方々との理解と協力が必要です。

詳細については、下記のホームページで公表しています。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/jigyo/kasen/ap02.html>

戸沢川・長瀬川流域アクションプラン実施図



※この地図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図（重山）を使用したものです

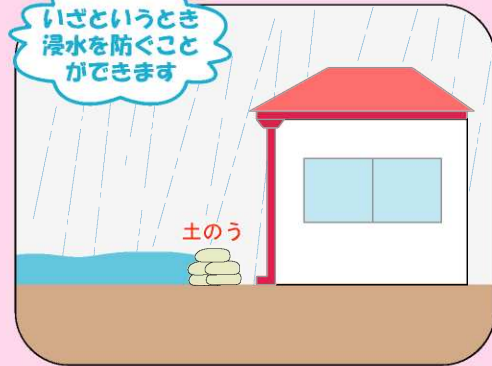
身近な防災対策

河川の定期的な除草・清掃



洪水を安全に流す機能を維持できます

土のうの常備



いざというとき浸水を防ぐことができます

土のう

水害図上訓練への参加



災害時に迅速な避難行動をとることができます

家屋の嵩上げ



家屋への浸水を防ぐことができます

嵩上げ

森林の適正管理



森林の保水機能で河川へ流れ出る水の量を減らすことができます

雨水貯留タンクの設置



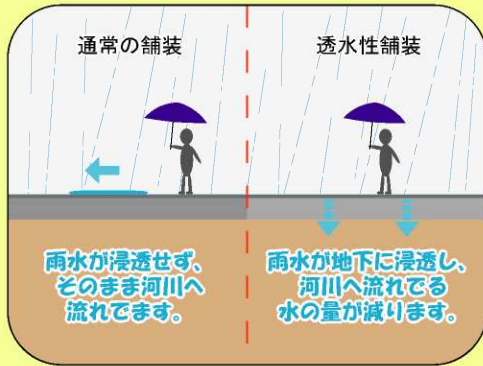
河川へ流れ出る水の量を減らすことができます

貯めた水を庭の散水などに利用

貯留タンク

その他の対策

歩道などの透水性舗装化



通常の舗装
雨水が浸透せず、そのまま河川へ流れます。

透水性舗装
雨水が地下に浸透し、河川へ流れ出る水の量が減ります。

水防倉庫の設置



浸水実績水位の表示



ハザードマップの公表



避難所

ハザードマップ

避難ルート

この他にも、「雨の日は風呂の水を流さないようにする」などといった普段の生活の中でもできる防災対策はあります。

浸水被害のない安全・安心な地域づくりのためにぜひご協力を！